

表3-3 う蝕有病歯率と処置歯率の年次推移、性別（乳歯・永久歯）

（単位：％）

		昭和62年		平成5年		平成11年	
		う蝕有病歯率	処置歯率	う蝕有病歯率	処置歯率	う蝕有病歯率	処置歯率
乳歯 (1～15歳未満)	総数	34.41	15.60	31.33	17.33	20.19	12.35
	男	33.13	15.38	30.70	16.90	21.55	13.48
	女	35.79	15.83	32.04	17.81	18.69	11.12
永久歯 (5歳以上)	総数	42.19	32.65	44.33	36.45	46.37	40.66
	男	35.21	25.29	38.38	29.87	40.58	33.92
	女	47.27	38.00	48.79	41.38	50.40	45.36

注：平成11年の未処置歯の診断基準は、前回調査の診断基準とは異なる。

表3-4 未処置歯の進行状況別分布の年次推移（乳歯・永久歯）

		昭和62年	平成5年	平成11年
乳歯 (1～15歳未満)	C ₁	36.50	36.36	37.35
	C ₂	44.45	48.70	53.40
	C ₃ 以上	19.06	14.94	9.26
永久歯 (5歳以上)	C ₁	34.71	31.58	27.58
	C ₂	35.23	40.93	44.16
	C ₃ 以上	30.06	27.50	28.26
	別に示す基準に基づく未処置歯	-	-	57.26

注：昭和62年および平成5年の調査についてはC₁～C₄（う蝕1～4度）までの診査基準、

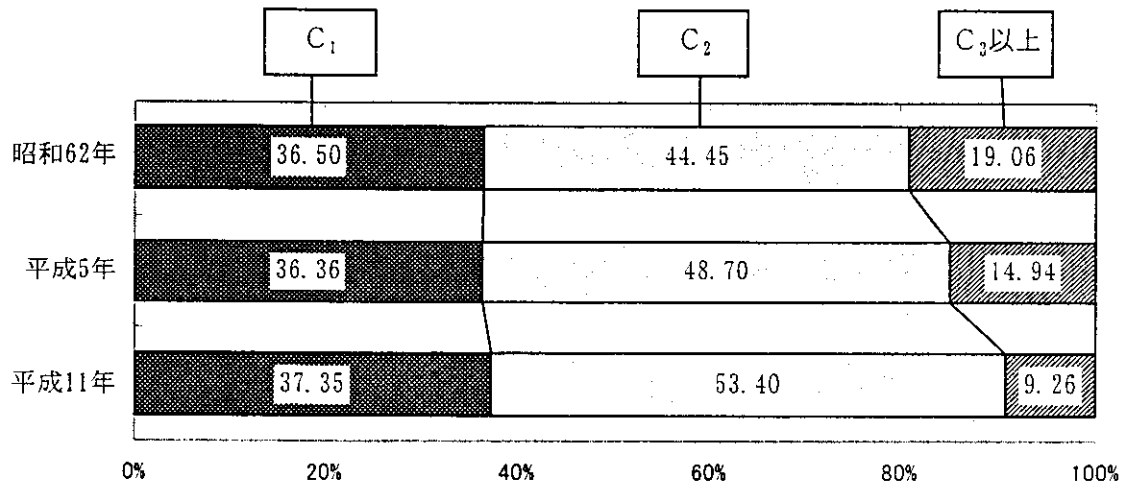
平成11の調査についてはC₁・C₂・C₃以上の診査基準となっている。

平成11年の調査結果に合わせるため、昭和62年および平成5年のC₃+C₄をC₃以上

（う蝕3度以上）として算出している。

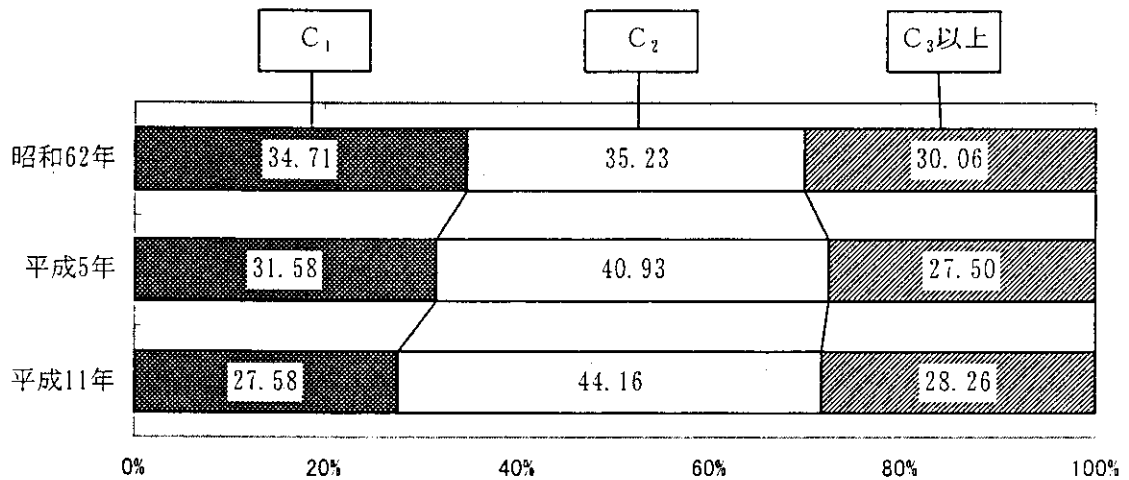
平成11年の未処置歯の診断基準は、前回調査の診断基準とは異なる。

図7 未処置歯の進行状況別分布の年次推移（乳歯）



注：平成11年の未処置歯の診断基準は、前回調査の診断基準とは異なる。

図8 未処置歯の進行状況別分布の年次推移（永久歯）



注：平成11年の未処置歯の診断基準は、前回調査の診断基準とは異なる。

表3-5 1人平均DMF歯数(DMF T指数)の年次推移,年齢階級別(永久歯)

(単位:本)

	平成5年	平成11年	D	M	F	別に示す基準に基づく未処置歯
総数	14.98	15.67	1.20	5.91	8.56	0.69
5歳	0.07	0.01	—	—	0.01	—
6歳	0.23	0.19	0.14	—	0.04	—
7歳	0.87	0.35	0.22	—	0.13	0.05
8歳	1.47	0.89	0.31	—	0.59	0.11
9歳	2.16	1.12	0.32	—	0.80	0.04
10歳	2.75	2.28	0.61	—	1.67	0.18
11歳	3.63	2.20	0.39	—	1.81	0.13
12歳	3.64	2.44	0.67	—	1.77	0.34
13歳	4.86	3.68	0.92	0.02	2.74	0.22
14歳	6.10	5.22	1.74	—	3.48	0.37
15~19歳	7.83	7.15	1.58	0.04	5.53	0.69
20~24歳	10.87	9.52	1.39	0.15	7.98	0.62
25~29歳	13.05	11.97	1.53	0.36	10.07	0.70
30~34歳	14.85	13.74	1.14	0.57	12.03	0.55
35~39歳	15.39	15.15	1.33	1.21	12.61	0.77
40~44歳	15.60	15.64	1.34	1.84	12.46	0.72
45~49歳	15.79	16.02	1.38	3.35	11.30	0.86
50~54歳	16.36	16.89	1.53	4.37	10.99	0.92
55~59歳	18.53	17.62	1.20	6.34	10.08	0.75
60~64歳	20.72	18.97	1.32	8.01	9.64	0.81
65~69歳	23.35	21.57	1.12	11.58	8.87	0.69
70~74歳	24.29	23.81	1.26	15.56	6.99	0.88
75~79歳	26.38	25.56	1.00	19.11	5.45	0.73
80~84歳	26.47	25.65	1.26	20.77	3.63	1.10
85歳以上	27.61	27.16	0.66	24.01	2.49	0.58

注1) D:Decayed teeth の略=永久歯のう蝕で未処置のもの

2) M:Missing teeth の略=永久歯のう蝕が原因で抜去したもの

3) F:Filled teeth の略=永久歯のう蝕で処置を完了したもの

4) DMF歯数=D+M+F

平成11年の未処置歯の診断基準は、前回調査の診断基準とは異なる。

4 喪失歯の状況

表4-1 喪失歯のある者の割合、1人平均喪失歯数の年次推移、性別（永久歯）

	喪失歯のある者の割合（％）			1人平均喪失歯数（本）		
	総数	男	女	総数	男	女
昭和32年	44.05	38.54	48.61	3.92	3.14	4.57
昭和38年	48.52	43.36	52.36	4.53	3.73	5.13
昭和44年	53.82	48.55	57.91	4.96	4.06	5.66
昭和50年	56.18	49.61	61.07	5.32	4.39	6.02
昭和56年	56.20	50.66	60.28	5.35	4.50	5.98
昭和62年	59.13	53.79	62.85	6.06	5.07	6.75
平成5年	58.04	54.59	60.56	5.89	5.20	6.40
平成11年	60.06	57.91	61.55	5.91	5.59	6.13

表4-2 1人平均喪失歯数の年次推移、性・年齢階級別（永久歯）

（単位：本）

		昭和62年	平成5年	平成11年
総数	20～24歳	0.51	0.20	0.15
	30～34歳	1.77	1.32	0.57
	40～44歳	2.99	2.70	1.84
	50～54歳	6.66	5.63	4.37
	60～64歳	13.55	11.25	8.01
	70～74歳	20.37	17.59	15.56
男	20～24歳	0.37	0.17	0.12
	30～34歳	1.57	1.18	0.64
	40～44歳	2.40	2.71	1.90
	50～54歳	5.28	4.50	3.98
	60～64歳	11.74	9.94	7.30
	70～74歳	18.78	15.83	14.61
女	20～24歳	0.61	0.23	0.18
	30～34歳	1.87	1.39	0.52
	40～44歳	3.33	2.68	1.79
	50～54歳	7.58	6.36	4.57
	60～64歳	14.90	12.26	8.48
	70～74歳	21.40	18.84	16.37

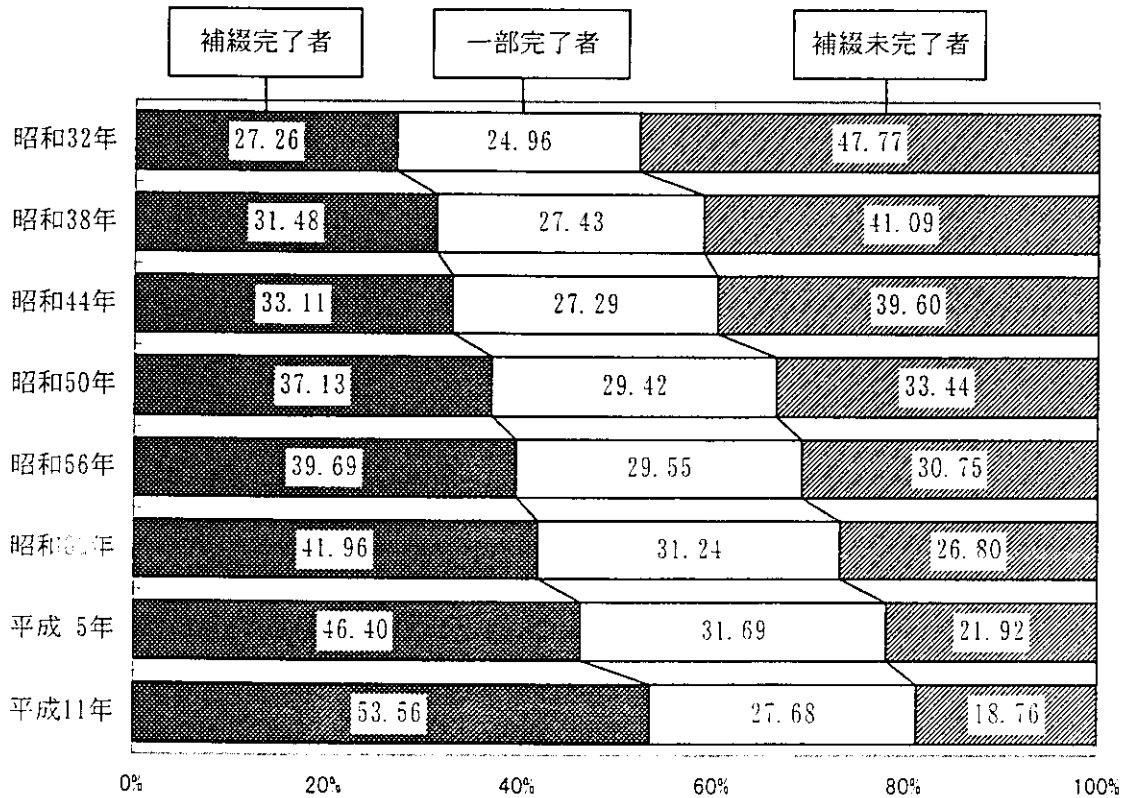
5 補綴の状況

表5 補綴状況の年次推移, 補綴完了者・要補綴者・性別 (15歳以上)

(単位: %)

	総数			男			女		
	補綴完了者	一部完了者	補綴未完了者	補綴完了者	一部完了者	補綴未完了者	補綴完了者	一部完了者	補綴未完了者
昭和32年	27.26	24.96	47.77	27.19	23.73	49.08	27.31	27.77	46.92
昭和38年	31.48	27.43	41.09	30.70	26.18	43.12	31.96	28.20	39.84
昭和44年	33.11	27.29	39.39	32.30	25.07	42.39	33.62	28.71	37.47
昭和50年	37.13	29.42	33.44	34.18	26.46	39.37	38.91	31.20	29.89
昭和56年	39.69	29.55	30.75	37.36	26.84	35.81	41.13	31.23	27.63
昭和62年	41.96	31.24	26.80	39.08	29.86	31.07	43.68	32.07	24.25
平成5年	46.40	31.69	21.92	44.01	30.68	25.30	47.97	32.35	19.69
平成11年	53.56	27.68	18.76	52.31	26.77	20.92	54.38	28.28	17.34

図9 補綴状況の年次推移



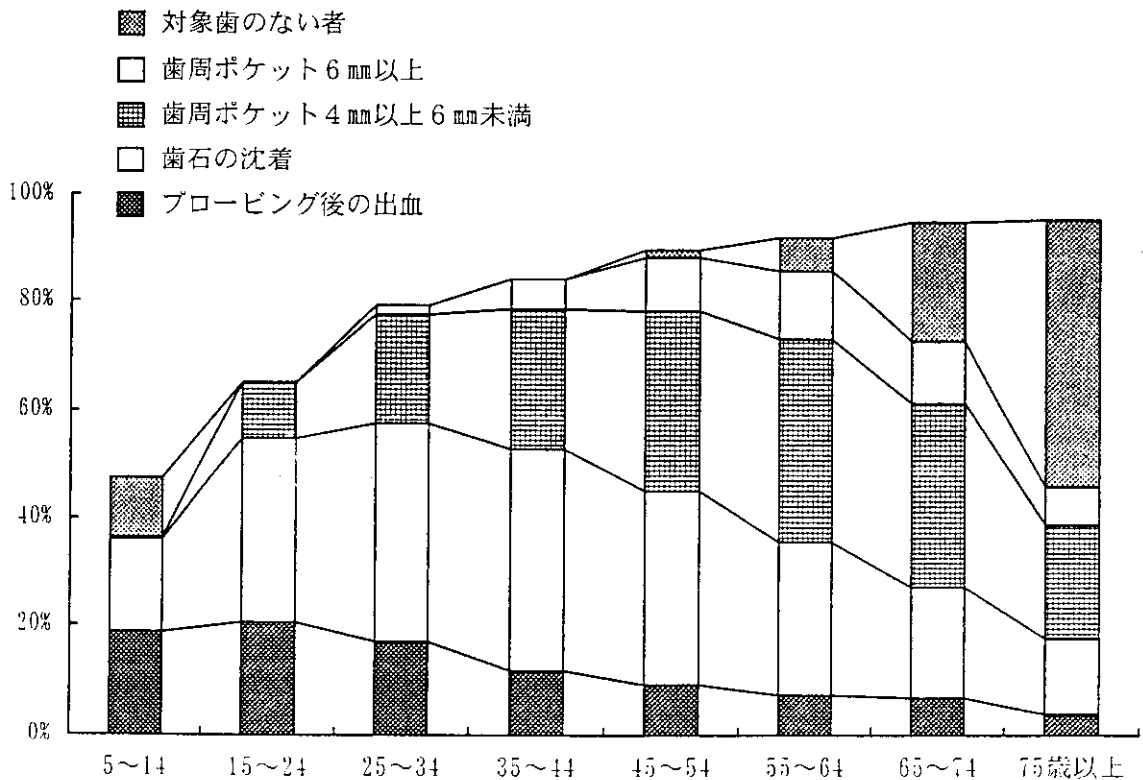
6 歯肉の状況

表6 歯肉の所見の有無，年齢階級別（5歳以上・永久歯）

（単位：％）

	所見のある者							所見のない者	対象歯のない者
	総数	ブローピング後の出血	歯石の沈着	歯周ポケット 4mm以上6mm未満		歯周ポケット 6mm以上			
				歯石沈着あり	歯石沈着あり				
総数	72.88	11.33	29.06	25.36	11.48	7.14	4.07	16.91	10.21
5～14歳	36.51	18.80	17.44	0.27	0.00	0.00	0.00	52.59	10.90
15～24歳	65.17	20.57	34.22	10.39	4.28	0.00	0.00	34.83	—
25～34歳	79.17	17.10	40.55	19.86	7.31	1.66	1.10	20.83	—
35～44歳	84.27	12.00	40.82	25.69	10.56	5.76	3.36	15.73	—
45～54歳	88.44	9.39	35.60	33.23	14.04	10.22	5.88	10.11	1.44
55～64歳	85.79	7.51	28.24	37.35	18.14	12.69	7.42	7.86	6.34
65～74歳	72.73	6.95	20.24	34.31	16.21	11.23	6.26	4.80	22.47
75歳以上	45.82	3.97	13.81	21.13	12.13	6.90	3.35	4.39	49.79

図10 歯肉の所見の有無，年齢階級別（永久歯）



7 歯列・咬合の状況

表7-1 叢生・空隙の状況，年齢階級別（12～20歳）

（単位：％）

	上下顎		上顎		下顎	
	叢生あり	空隙あり	叢生あり	空隙あり	叢生あり	空隙あり
総数	20.27	3.47	13.71	9.27	12.55	3.28
12～15歳	17.23	2.62	17.60	9.36	12.73	4.12
16～20歳	23.51	4.38	9.56	9.16	12.35	2.39

表7-2 オーバージェット，年齢階級別（12～20歳）

（単位：％）

	オーバージェット					
	0.5mm以上 4mm未満	4mm以上 6mm未満	6mm以上	±0.5mm未満	-0.5mm以上 -4mm未満	-4mm以上
総数	59.27	23.17	8.30	6.37	2.90	—
12～15歳	57.84	27.24	8.58	3.36	2.99	—
16～20歳	60.80	18.80	8.00	9.60	2.80	—

表7-3 オーバーバイト，年齢階級別（12～20歳）

（単位：％）

	オーバーバイト					
	0.5mm以上 4mm未満	4mm以上 6mm未満	6mm以上	±0.5mm未満	-0.5mm以上 -4mm未満	-4mm以上
総数	61.66	20.81	7.51	7.71	2.31	—
12～15歳	61.19	22.76	7.84	5.97	2.24	—
16～20歳	62.15	18.73	7.17	9.56	2.39	—

8 フッ化物の塗布状況

表8 フッ化物塗布の有無の年次推移，場所別（1～15歳未満）

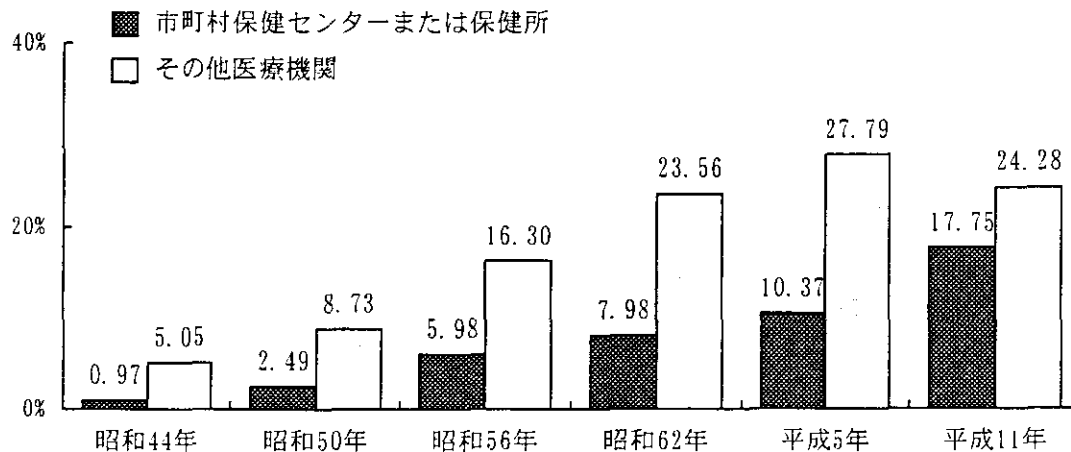
（単位：％）

	受けたことがある者		受けたことが ない者	不詳	
	総数	市町村 保健センター または保健所			その他 医療機関
昭和44年	6.03	0.97	5.05	85.60	8.37
昭和50年	11.22	2.49	8.73	78.93	9.85
昭和56年	22.28	5.98	16.30	67.19	10.53
昭和62年	31.55	7.98	23.56	56.18	12.27
平成5年	38.16	10.37	27.79	46.55	15.29
平成11年	42.03	17.75	24.28	44.20	13.77

注：平成5年までは、保健所で受けたものを調査したもの。

平成11年は、市町村保健センター等で調査したもの。

図11 フッ化物塗布受診者の年次推移



9 歯ブラシの使用状況

表9-1 歯ブラシの使用状況の年次推移, 年齢階級別

(単位: %)

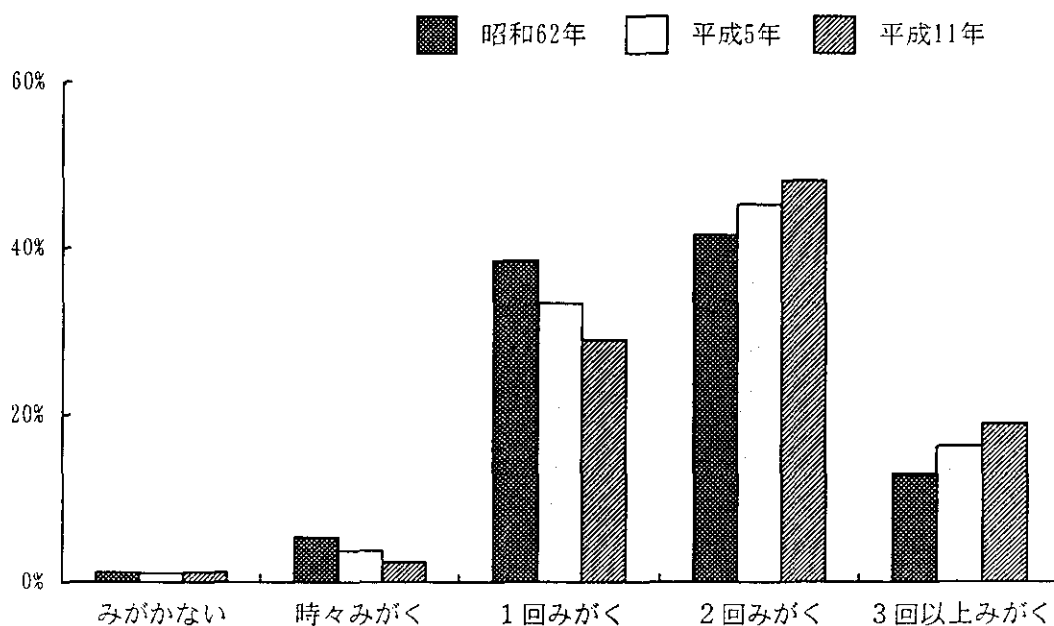
		総数	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50歳以上
毎日みがく	昭和32年	60.67	6.10	26.93	50.38	86.17	88.48	84.64	79.72	67.30
	昭和38年	62.44	9.00	24.83	50.18	86.02	87.64	82.68	79.54	66.23
	昭和44年	79.68	21.16	59.91	73.59	94.13	95.76	93.43	92.92	83.27
	昭和50年	85.51	39.60	72.67	83.35	95.28	97.50	96.21	91.65	69.41
	昭和56年	90.51	66.83	85.05	90.36	97.28	96.58	96.52	94.44	89.75
	昭和62年	93.20	79.39	88.87	91.21	96.57	98.48	97.61	97.05	92.41
	平成5年	94.96	87.57	89.83	92.47	96.90	97.71	98.98	98.01	94.29
	平成11年	96.16	92.02	93.63	95.59	95.54	97.83	99.50	98.50	95.28
時々みがく	昭和32年	18.11	9.77	31.49	32.08	11.42	9.82	12.93	14.40	14.75
	昭和38年	22.80	19.09	44.98	38.36	12.07	11.15	14.85	16.85	20.07
	昭和44年	12.19	20.37	31.54	24.97	6.09	4.90	6.71	6.68	11.29
	昭和50年	9.90	27.38	24.72	15.31	4.50	2.10	3.10	5.21	4.62
	昭和56年	7.06	20.28	13.30	9.07	2.35	3.35	3.17	4.65	6.22
	昭和62年	5.55	15.88	10.37	8.32	3.43	1.52	2.23	2.77	5.29
	平成5年	3.95	9.23	9.44	7.24	3.10	2.15	0.87	1.85	3.69
	平成11年	2.55	6.44	6.37	4.12	4.09	2.17	0.38	1.38	2.28
みがかない	昭和32年	21.22	84.12	41.25	17.53	2.41	1.70	2.43	5.88	17.94
	昭和38年	14.76	71.91	30.19	11.46	1.91	1.21	2.47	3.61	13.70
	昭和44年	8.13	58.47	8.55	2.02	0.38	0.51	0.84	1.12	7.45
	昭和50年	4.58	33.02	4.60	1.13	0.22	0.29	0.29	0.89	2.64
	昭和56年	2.43	12.89	1.65	0.57	0.37	0.30	0.90	0.90	4.02
	昭和62年	1.25	4.73	0.76	0.47	0.00	0.00	0.16	0.18	2.29
	平成5年	1.09	3.20	0.74	0.28	0.00	0.14	0.16	0.14	2.02
	平成11年	1.29	1.53	0.00	0.29	0.37	0.00	0.13	0.12	2.44

表9-2 歯ブラシの使用状況の年次推移, 回数別

(単位: %)

	みがかない者	時々みがく者	毎日みがく者		
			1回	2回	3回以上
昭和44年	8.12	11.80	62.79	15.11	1.77
昭和50年	4.32	9.16	53.45	24.63	2.62
昭和56年	2.43	7.06	46.40	36.57	7.53
昭和62年	1.25	5.55	38.55	41.66	12.99
平成5年	1.09	3.95	33.32	45.33	16.32
平成11年	1.29	2.55	29.04	48.10	19.02

図12 歯ブラシ使用状況の年次推移, 回数別



10 歯の寿命

表10 歯の平均寿命の年次推移、性・歯種別（永久歯）

（単位：年）

			年次	中切歯	側切歯	犬 歯	小 白 歯		大 白 歯	
							第一	第二	第一	第二
							男	上 顎	左	昭和62年
平成5年	59.6	58.0	58.5	55.4	53.1	54.8				47.9
平成11年	62.6	61.9	62.1	58.2	56.2	58.6				52.4
右	昭和62年	56.4	55.7	56.0	52.8	50.9			51.9	47.0
	平成5年	58.9	58.1	58.1	55.4	53.6			55.0	48.8
	平成11年	62.2	61.5	61.8	58.5	57.3			58.9	51.9
下 顎	左	昭和62年	61.0	61.4	62.0	57.2		50.9	46.0	43.3
		平成5年	63.3	63.8	64.7	59.5		53.0	49.7	45.5
		平成11年	66.6	66.6	66.7	62.6		57.0	55.2	50.0
	右	昭和62年	60.8	61.3	61.7	57.4		51.4	46.9	43.7
		平成5年	63.8	63.7	64.4	60.0		53.6	50.3	46.7
		平成11年	66.3	66.4	66.7	62.3		57.9	55.5	51.0
女	上 顎	左	昭和62年	54.0	52.4	52.8	49.9	46.8	49.1	41.5
			平成5年	56.9	55.4	55.7	52.6	49.6	52.4	45.2
			平成11年	61.3	59.8	60.5	58.0	55.1	57.4	50.8
		右	昭和62年	53.8	52.3	53.2	50.5	47.1	49.1	42.2
			平成5年	56.7	55.3	55.9	53.1	50.3	53.5	45.3
			平成11年	61.4	60.2	60.8	58.3	55.8	57.9	50.6
	下 顎	左	昭和62年	58.9	58.7	58.5	52.9	47.1	42.6	40.9
			平成5年	62.2	61.7	61.8	56.7	50.6	46.5	44.7
			平成11年	66.1	65.9	65.8	60.7	54.9	51.9	49.4
		右	昭和62年	59.0	58.6	59.1	53.9	47.3	42.6	41.8
			平成5年	62.2	61.9	61.2	56.2	50.1	46.7	44.4
			平成11年	65.9	65.3	66.2	60.6	54.7	51.6	49.9

1.1 8020 (ハチマルニイマル) について

図1.3 1人平均現在歯数の年次推移

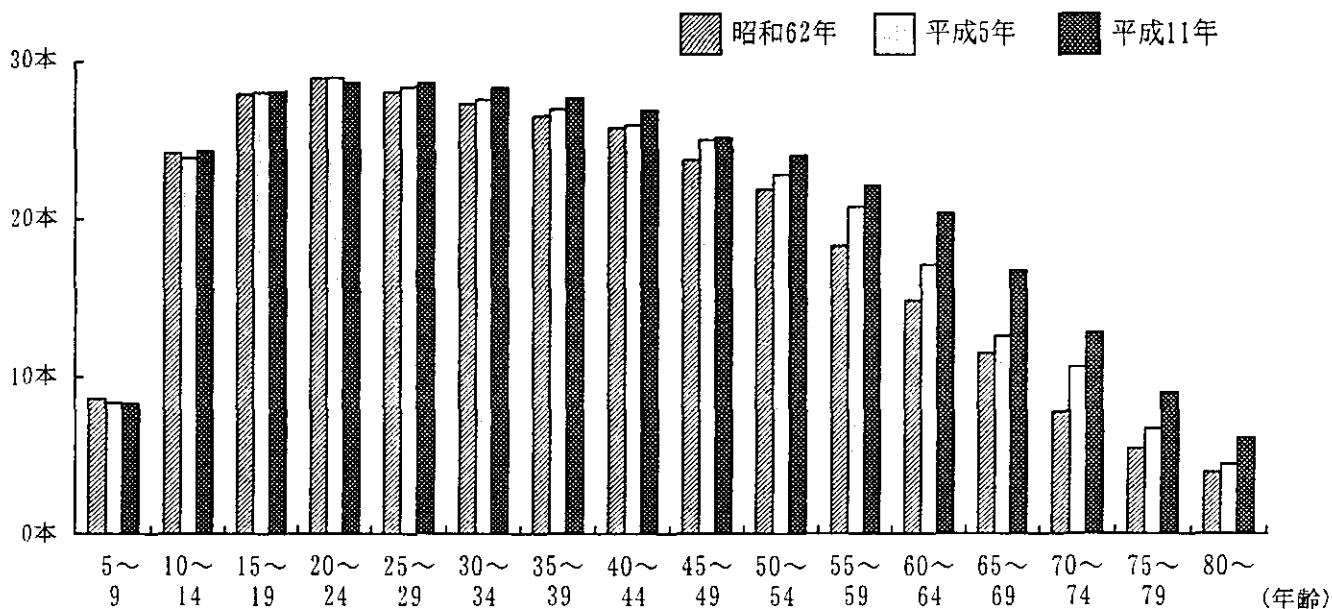
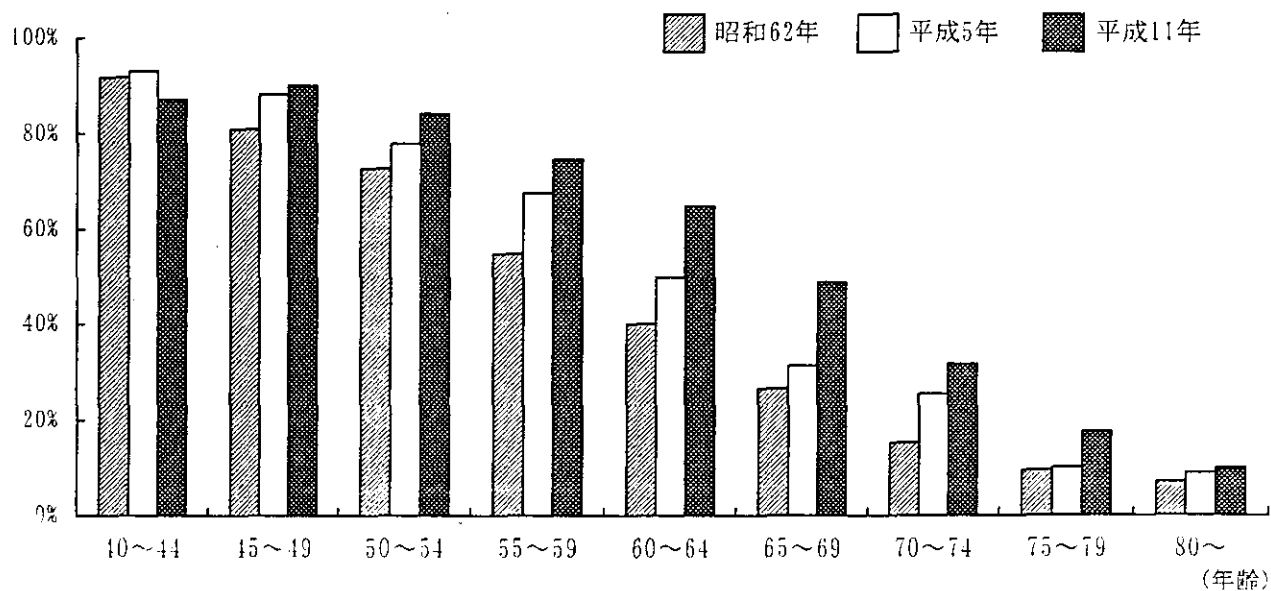


図1.4 20歯以上有する者の割合年次推移



	1人平均現在歯数 (本)		20歯以上有する者の割合 (%)	
	平成5年	平成11年	平成5年	平成11年
75~79歳	6.72	9.01	10.00	17.50
80~84歳	5.14	7.41	11.70	13.00
80歳 (推定値)	5.93	8.21	10.85	15.25

平成5年並びに11年の歯科疾患実態調査で用いた未処置歯の診査基準

	平成5年調査	平成11年調査
未処置歯の分類	う蝕1度 (C ₁) う蝕2度 (C ₂) う蝕3度 (C ₃) う蝕4度 (C ₄)	う蝕1度 (C ₁) う蝕2度 (C ₂) う蝕3度 (C ₃) 以上
う蝕1度 (C ₁)	表面的な小う窩があり、成形充填により容易に治療処置の完了する程度のう蝕をいう。 ① 平滑面では歯科用探針がひっかかるもの ② 小窩裂溝では歯科用探針の先端が、歯質の中に1mm程度圧入されるもの ③ 根面う蝕では表面的な軟化象牙質の存在が触診されるもの	エナメル質に限局したう窩の形成が認められるう蝕をいう。
う蝕2度 (C ₂)	う蝕1度よりも進行したう蝕であるが、歯髄処置は不要と思われるものをいう。 ① 歯冠部では、罹患象牙質が認められるもの、または触診によりう窩が象牙質に達していることが認められるもの ② 歯根部では深さ2mm程度のう窩が存在するもの (注) ① 隣接面では罹患象牙質の存在がエナメル質を介して透視されたものはう窩を触診しエナメル質に限局したう窩の形成が認められなくともう蝕2度とする。 ② 小窩裂溝に歯科用探針の先端が2mm程度入るものは、象牙質に達するう窩であるのでう蝕2度とする。	う蝕1度よりも進行し、病変が象牙質まで達しているが、歯髄には到達していないものをいう。 ① 歯冠部では、罹患象牙質が認められるもの、またはう窩が象牙質に達していることが認められるもの ② 隣接面ではう窩を確認しなくても罹患象牙質の存在がエナメル質を介して透視されたもの ③ 軟化象牙質の存在が触診される根面う蝕
う蝕3度 (C ₃) 以上	(う蝕3度) う蝕2度よりさらに進行した状態で、断髄、抜髄または根管処置を必要とするう蝕およびう蝕のため歯冠部のおよそ1/5以上が崩壊しているものをいう。 (う蝕4度) う蝕の進行が著しく、抜去を要するものをいう。	う蝕3度以上とは、う蝕2度よりさらに進行した状態で、歯髄まで病変が波及しているものまたは、それ以上に病変が進行しているものをいう。

注1：この他に平成11年は、永久歯に限り「別に示す基準に該当する未処置歯」を調査している。

注2：「別に示す基準に該当する未処置歯」とは、「・明らかなう窩、・エナメル質下の脱灰、・軟化底、軟化壁が確認できる小窩裂溝、平滑面のう蝕病変」のことである。